

2. FAセキュリティモデル研究会 活動計画(1)

○概要:FAシステムのセキュリティ強化を実施するためのFAセキュリティモデルに関する調査を実施していく。現在の「セキュリティモデル」の意味は、セキュリティシナリオ、運用シナリオ、検証シナリオ、シミュレータ上で稼働するモデル、などを包含する幅広いものである。今後の活動を通してより洗練していくものである。

○実施日程:1ヶ月～2ヶ月に1回の頻度で研究会を実施する。委員から議題持ち寄りや勉強会トピックの提供を前提とする。

○調査項目:FAシステムのセキュリティ検討項目や手順を整理するための簡易システムモデルとその実現方法を調査する。

1. 脆弱性情報と制御システムの運用が紐付くセキュリティモデルの検討
 - セキュリティを検討する上で、IPAのスマート工場モデルなどを活用した、最小単位のFAシステム構成などを検討する
2. LLM(大規模言語モデル)などの生成系AIによるセキュリティガイドラインからのセキュリティポリシー生成やモデル生成のためのガイドラインの検討
3. FA制御系へのソフトウェアPLCやOSS(LinuxやRoS)導入による変化をモデル化
4. その他
 - 米国・欧州のセキュリティ動向
 - 制御ソフトウェア系のセキュリティ動向
 - シミュレータの動向調査

2. FAセキュリティモデル研究会 活動計画(2)

○研究会実施方法

- 遠隔実施を主体に, 状況により対面実施
- 外部講師の招待

○研究会のアウトプット例

- FAシステムの簡易モデルから, 操業タスクの種類によってモデル(情報の流れやタスクの依存関係)を段階的に詳細化するのに必要な手順を整理する.
- 機器の物理的な接続関係と情報の接続関係を可視化するために必要な手順を整理.
- FAセキュリティモデルのPoCの構築
- LLM(大規模言語モデル)などに基づくセキュリティポリシー生成のためのガイドラインの検討

